

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成25年度第1回生涯学習センター運営委員会		
事務局 (担当課)	教育振興部 生涯学習センター 内線4567(757-8481)		
開催日時	平成25年4月4日(木)午前10時~12時		
開催場所	生涯学習センター 講義室1		
出席者	委員	大塚啓子、大音裕子、堀田啓子、常行貞臣、松浦孝治 山本朗、仲岡博明 (欠席:石津容子)	
	その他	教育長	
	事務局	中定久紀、中塚直美、藤原育子、海野恵子	
傍聴の可否	可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1. 開会 2. 教育長挨拶 3. 運営委員の委嘱及び任命について 4. 自己紹介 5. 運営委員会委員長及び副委員長の選任について 6. 報告・議題 (1)平成24年度アンケート結果について (資料1) (2)平成25年度生涯学習センター事業について (資料2) (3)平成25年度レフネック第20期生の公開抽選について(資料3) (4)平成25年度レフネック第20期生の入学式について (資料4) (5)生涯学習センターの利用状況について (資料5) 7. その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

審 議 経 過

1. 開会

2. 教育長挨拶

教育長 おはようございます。25年度もまたよろしくお願ひいたします。昨日、木津川学長とお会いしてお話しする機会がございました。ご本人もおっしゃってたんですけど、また私たちも思うところは、レフネック生涯学習短期大学のありようを、全国的にレベルも高いしポテンシャルも高い、また他の講座、他の市なんかがされている講座と比べたら、まさにこちらが市長もおっしゃっているまさにオンリーワンという市民向けの大学として本当に素晴らしいと、あらためてそう思います。そういう面では25年度も川西の教育の大きな柱の一つとして生涯学習短期大学を充実していけたらと思っております。全国でこういうアンケートがありました。幸福度といいまして、市も第5次総合計画を25年度から発します。愛称を川西しあわせ物語、こうして柔らかい設計図なんですけど、幸せがキーとなって発信します。それを受けて4つの政策、大きなテーマがあります。暮らし、安全、安心、生きがいにつながります。そのつながり、特に生きがいに関しては特に高齢者大学と、このレフネックが大いな力を発揮することとなります。幸福度を調べると健康がまず一番、家族の絆が次にありました。次に一定の家計、経済力、自由時間、職業をとおしての自己実現、就業、あと人間関係とか友人関係、生きがい、あと市に貢献するとか、特に川西市民としては社会に貢献したいという回答が他の自治体と比べて2倍ぐらいに高くあります。今日またご審議いただきまして、新年度の短期大学の要綱など含めてご審議いただこうかと思っております。本年度レフネック生涯学習センターがアステのほうに行きます。その準備をしている最中です。後半の方では近況も含めて少しお話しできればと思っております。よろしくお願ひいたします。

3. 運営委員の委嘱及び任命について（任期は平成27年3月31日まで）

事務局 それでは運営委員の皆様には牛尾教育長から委嘱状をお渡しさせていただきます。お名前を順不同でお呼びいたしますので、お手数ではございますが、牛尾教育長の前までお越しいただきますようお願いいたします。

大塚啓子様	常行貞臣様	松浦孝治様	堀田啓子様
大音裕子様	山本朗様	仲岡博明様	

なお、本日辞令をお渡しする予定の石津容子様、本日所要の為欠席でございます。また、社会教育委員の会と学校代表の選出につきましては各々の会に

お願いしておりますが、この時期は異動のため4月中の選任となっており次回の運営委員会で紹介させていただきます。どうか会員の皆様方、2年間宜しくお願いいたします。さて本日は平成25年度第1回目ということでございます。辞令交付が終わったところでございますが、自己紹介をお願いします。

4．自己紹介

大塚委員

常行委員

松浦委員（歯科医師会からの任期は6月末）

堀田委員

大音委員

山本委員

仲岡委員

事務局自己紹介

牛尾教育長 所長 中塚 海野 藤原

5．運営委員会委員長及び副委員長の選任について

事務局 事務局からお諮りさせていただきます。生涯学習センター設置および管理に関する条例規則第22条2項の規定によりますと、委員長および副委員長は委員の互選により定めるとなっておりますが、いかが取りはからせていただきますでしょうか、お伺いさせていただきます。

委員 事務局一任

事務局 事務局一任のご提案がございましたが、よろしゅうございますか。異議ございませんでしょうか。

事務局 異議なしということでございますので、僭越ではございますが事務局の腹案を提示させていただきます。委員長には大塚啓子委員、副委員長には大音裕子委員をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

（一同拍手）

事務局 ありがとうございます。それでは早速ではございますけど、大塚委員長、大音副委員長、席を移っていただいて一言ずつご挨拶頂戴できませんでしょうか。

委員長 委員長を務めさせていただきます大塚啓子でございます。皆様とは、また審議を深めていけたらと思います。私の方から最近の情勢などお話をさせていただきたいと思うんですけど、今年に入りましてからアベノミクスと言うんでしょうか、非常に社会的に明るい空気が入ってきまして思惑だけが上がっているんでしょうか、そういった雰囲気は街全体に溢れております。良い事だと思っておりますけど、新年度に入りまして景気が良くなってくるんでしょうけど値上げが次々と出ております。また先週から中国上海あたりから鳥インフルエンザが深刻な問題として出ております。黄砂や花粉にあわせて春の時期にまた厄介な問題が出てまいりまして、世の中いろいろと騒がしいなと思っております。私共も自己防衛して行かなければ、流されてしまうと辛いものがあるのではないかと最近の社会情勢を見守っております。今年は生涯学習センターもアステの方へ行く準備を着々とこなされているようでございますので、私共運営委員会といたしましても何かお手伝いできましたらと思いますので、声をかけていただきますようお願いしたいと思います。委員長という重責が適任とは思いませんので、身の細るような思いで受けさせていただいております。委員会のなかで皆さんのご意見が沢山、ご自分の思っていることを意見として出しているだけの委員会でありたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

副委員長 私にとりましたら重いポジションで非常に恐縮しております。どうぞよろしく願います。

事務局 委員長、副委員長、ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。議事に移りますが、これ以後の進行は大塚委員長にお願いしたいと思っております。

6. 報告・議題

(1) 平成24年度アンケート結果について

(資料1)

委員長 事務局お願いします。

事務局 調査対象は23年度入学の農学科と文化遺産学科、24年度入学の建築学科と水資源・環境学科、4学科の学生263人にアンケートを配布しまして、回収は221枚となっております。回収率は84.0%でございます。

問1. レフネックをどの様にして知られましたか

公共機関に置く入学案内の冊子で知られたというケースが最も多く、続きまして、ほぼ同数ではありますが、3月1日号の広報誌に掲載する募集記事

にて知られたという方となっております。また、知人からレフネックを知ったという回答も13.6%となっております。

問2. レフネックの講義について

申し込み時と比べて

92.7%の方が期待以上の内容、もしくは期待通りの内容と回答しておられます。頂戴しましたご意見の中にも、農学科「興味ある講義の時は予習、復習している」文化遺産学科「毎回時間の経過を忘れて聴講出来、感謝の気持ちでいっぱいです」という意見が出ております。「実りの多い2年間でした」という回答もあります。建築学科におきましては「興味のあるテーマについてより深く造形を深めたい」「1テーマで3~4講座続くのは大変いい。講義が充実している」というようなご意見もいただいております。

内容について

90.5%の学生が「良く理解できる」「理解できる」と回答をされておられます。ご意見といたしまして農学科「内容が比較的充実している。データ類がもっと見やすいとよいと思うことがある」という意見と「専門性が強すぎ、理解しにくい」もございます。文化遺産学科「現状に満足している」「非常にいい講義ばかりで毎週土曜日が楽しみです。今の年齢まで知らなかったことが多く改めて学問の楽しみを感じています」建築学科「参考文献等の紹介をお願いしたい」水資源・環境学科「今回は期待以上の講義ですが、私にとって宿題はいらぬ」「専門的でとまどうこともあるが、よい刺激になっている」というのもありました。

講義前後の予習復習について

「適宜している」「特にしない」がほぼ同数ありました。これは毎年同じご意見をいただいておりますが、レジュメがなかなか出てこないということで「興味がある時には予習、復習をしている」というご意見もございませうが事務局としましては、講師に対しまして資料をできるだけ早く提出していただけるようお話ししておりますが、講師の先生もなかなかお忙しくされておりますので、講義の開始ぎりぎりに資料が届いているのが実態でございます。それぞれのご意見もございませうが受講に際して非常に熱心な姿勢がうかがえます。また「資料を事前に配布しなければ予習できない」ということで講義前後の予習、復習を「特にしない」の意見は「できない」のご意見でもございませう。事務局としては出来る限り講師の先生と調整を図ってまいります。

問3. レフネックの事業運営について

課外講座について

例年本科と異なり平日に開催していることから参加が難しいということが

あるものの参加していただいた学生からは、おおむね満足しているとの回答となっております。

オープン講座について

文化遺産学科の学生からは「オープン講座では、選に漏れた!」「回数を増やして欲しい」農学科の方でも「オープン講座はなかなか当たらない。学生優先は無理か」建築学科におきましても「オープン講座を希望しても2つとも当たらず落選、残念です」というようなご意見がございました。内容についてはおおむね満足しているという結果となっておりますが、参加しにくいという声もありますので、そのあたりの現状を確認していく必要性を感じております。

学生委員会制度について

この制度は、他の学習施設にない制度であり、学生の自主的、主体的な運営意識を育み、親睦を深めることを目的にしているものでございます。学生委員会制度について理解を得られていない意見が多数ございますが、川西市生涯学習短期大学の歴史ある取り組みでございますので、いろいろなご意見もございますが、学生委員会制度の趣旨を学生にご理解いただけるよう今後も取り組んでまいり次第でございます。

問4. 今後レフネックで学習したい講座内容は

ご希望の高い順に歴史、生命科学、自然科学、文学、社会学、心理学、経済学、工学、福祉、法学、商学という結果となっております。上位3つの講座につきましては、ここ数年変わらず要望が多い内容となっております。過去に開催しました学科等と鑑みまして26年度に開催する学科やオープン講座の参考とさせていただきたいと考えております。なお、レフネックの学科は専門性の高い高度な内容を提供しておりますため、学生の要望はあくまで参考としてとらえさせていただきまして、学生の方々がよりよい自己実現ができる内容を企画したいと考えます。

問5. 現在どのような生涯学習されていますか

昨年の結果と比べてほぼ同じで、レフネックのみが45.7%となっており、やはり半数の学生がレフネック以外にも学習をしておられるという結果となっております。例年、阪神シニアカレッジはもちろんのこと、健康大学、シニア自然大学校、りんどう学園、マイスターゼミ、大学のオープン講座、NHK文化センターなどを利用される方がおられるとのことでした。

問6. 習得された知識や貴重な体験を活用した講師指導はされていますか

「している」と答えられた方は10%、「したいと思う」と答えられた方は16.3%、するつもりはないと答えられた方は64.7%となっております。実際

に地域や講師として活動されている方はおられるものの、半数以上の方がレフネックで学んだ知識や経験を活用し「講師指導等するつもりはない」との回答を得ており、このあたりにつきまして貴重な地域の資源としての動機づけ、活動の場の設定が必要と認識しております。

問7.市では様々なコミュニティ活動やボランティア活動の参加を推奨していますが、このような地域活性化につながるような取り組みについて「参加している」「機会があれば参加したい」という方が76%ございます。地域への積極的な貢献は見られるという状況になっております。今後、昨年よりも、「している」「参加したいと思う」という方の数字を上げていけるよう学生とコミュニケーションを図ってまいりたいと考えております。なお全体的に個々のコメントや自由意見から多くの学生が前向きに学習に取り組んでおられ、レフネックに期待と満足をされている様子をうかがうことができました。生涯学習は暮らしにうるおいと生きがいを求める場であるということで現代的な課題を解決していく学びまで、生涯にわたって自主的、主体的に学んでいけるものであり、今後は学生の方々の学びを応援するための企画や運営を心掛けていきたいと考えております。以上雑駁ではございますが、報告事項(1)24年度アンケート結果についてとさせていただきます。

委員長

ありがとうございました。このアンケートは毎年行っておられますね。毎回拝見しております、レフネックに対し満足度が高いという数字が出ているように思います。何か見えてくるものは、事務局として学科以外に問題と感ずることはございますか。

事務局

習得された知識、そういったものを講師指導として活用されているか、地域の活動につながるようなといった項目があります。確かに数字を見る限り40回の講座を受けるだけではその講座自体を地域や、また違う場でご披露するのは難しいと思います。こちらには表れておりませんが会社勤めで四十年以上勤められた経験などを生きがい学習塾でご披露されたり、またその内容を学校の先生方、教頭会の講師としてご披露させていただく、そういったこともレフネックではプロデュースしております。問6.にありました「講師指導しているか」また「したいと思うか」それと、問7.「ボランティア活動しているか」「したいと思うか」それを延べでカウントしますと学生の87%が何らかの意味で自分の能力、また、ボランティアに対する思いを反映したいという積極的な意見が返ってきております。委員長が言われましたように講座に対する理解度で「満足している」との回答はうれしい内容です。市では、もう一歩進んで地域力といったものを活性化してもらうような中で、だんだんレフネックの学生に浸透していった良い回答が返ってきているのでは思っております。

委員長 見ておりましてコミュニティ活動、ボランティア活動への参加を積極的に行ってらっしゃるといふ、レフネックの皆さんの意識が高いという感じがいたします。委員の皆様いかがでしょうか。

委員 こういうところで学ぶと自分がどういう所でどのように伝えていくかを考えるようになります。それと、「学生証の有効性を高めてほしい」という回答があります。正規の学生であればいろいろな機能があります。単なる映画館の値引きなどでなく、市としてバックアップするということであれば、できるところを、やはり一生懸命学んでおられる意欲を何とか、発展していけばいいわけですから、何か最初の一步として何かをとと思います。こちらの学生さんであれば少しこのあたりを助成しよう等何かあっても良い。行政のどの部分でできるのかわかりませんが。

委員長 学習したことを表に出して生かしていくことが問題です。音楽をやっておりますと人に聞いていただく、表に出すことによって習得の度合いを高めていくということもあります。レフネックの中でも学生論文で2年間を締めくくっておられますけど、それ以外にも何かお互いに学園祭ではありませんが受講発表する場をとと思います。いかがですか。

委員 学生の中にアマチュアカメラマンの方がおられます。「フォト・趣」というカメラ同好会をこちらでしていますが、もっと多くの人に開放したいという思いもあるそうです。レフネックの学生以外も受け入れたいとのこと。開かれた生涯学習センターといいますか、個人的にあっても良いなと思っています。

事務局 いい実例をおっしゃっていただきました。まず、学生証の活用についてです。レフネックでも学生証を発行しております。自分がシルバーになってもその学生証を利用して、学割で映画を見たいという所でグループを組んで青春時代に戻ったような浮き浮きした気分で行かれています。そしてご指摘のありました街の中におられる文化人、知識や技能に精通した方については、生きがい学習塾のほうでも自分のお仕事の経験などの講演もあり最近では元おられた職場の仲間も聴講して欲しいということで召集をかけられるなど、50名近くの受講生を集められることもございます。それと一芸に秀でた方もおられ、土曜日の講座が終わった後で農学科等はO Aルームで毎回担当して自主学習会ができております。O B会も独自に先生を招聘して開催されます。端的な例が「川西再発見」はN P O法人として自立し、また、「パソコン同好会」として本当にパソコンがお好きな方が集い長年の経験の中で今はレフネックのO Aルームでパソコンの指導を継承しておられます。本当に優れたものをお持ちの方を核に人が集まってグルー

プができて自然発生的に法人格まで持たれ、マスコミにも発信して行かれる、そういった一面もございます。事務局でもそういった活動をサポートしながら見守っていきたいと考えております。

委員長

お話がありましたけれども、学生証を発行しておられるとは私も知りませんでしたけれどもユニークで良いですね。また、ちょっとしたことで広がりが大きくなっていくことでしょうし。あとカメラの良い技術をお持ちになった方なども作品をどこかに展示できるように、ここでは無理かもしれませんが、今度アステの方に変われば生涯学習センターの中に写真や絵画とか、ちょっと心潤せるようなそういう展示室みたいなものが作れるといいと思います。

委員

自分の得た知識を皆様の前で発表して聞いていただこうと思うと、またそれなりに蓄積したものがないと発表できないと思うので、発表する立場になると勉強がさらに深まっていい機会になると思います。自分から出来るけれどちょっと自信がついてきて何処でしたらいいかわからないという学生さんもおられると思うので、プロデュースできますよ、と言うことを学生さんに向けてもアピールしていただきたいと考えます。

委員長

そういう活動というのはレフネックというよりも生涯学習センターの中で大きくしていく、レフネックと連携しながら生涯学習センターとして育てていくことになるのでしょうか。

事務局

今ご指摘ありました地域で講師デビューの一つが生きがい学習塾です。後ろに二人の担当がおりまして毎年10名が教壇に立って、普段は聞いている方がその時90分は講師です。なかなか自分で今学んでいる講義の内容を人に講義をするというのは、とてもじゃないけど出来ないと思います。やはり教わった知識の十倍をかけないと人に講義を出来ないと言われていました。そのような中で例えば、会社で技術を培ってきた、また地域の中でこんな苦労をしてきたといった実体験を話されることが生きがい学習塾の中ではございまして、非常に好評です。自分の昔の同僚を連れて来てという時などは非常に盛り上がりましてし、O Aルームで毎月自主学習しているのも一つの成果かと思われま。また、写真の展示などにつきましては、生涯学習センターでは2階、3階のホールのほうで貸室のほかに登録グループ様の展示や写真展などをしております。その展示の空いているときに例えば野菜の花の写真の展示とか学生が手を上げて開催したものが昨年ございました。今までにないうれしいお申し出でございまして農学科の講義を受けながら「野菜の花ってどんなの、どんなに綺麗なの」とアップで写された写真は非常に共感を得ました。卒にとらわれない様々な申し出に応えられるよう努めていく所存です。

委員長 生涯学習センター側のフォローも大切かと思えます。他にご意見ございますか。

委員 アンケートを見まして「先生の講義が早口で聞きにくい」とか、ここはこうすればよい、というようなことが幾つかありますよね。大学でも学生にアンケートを取ることがあります。直せるところは直すようにアンケートを取るわけですが、先生に来ていただいて先生の個性もありますのに言いにくい所もあるかと思えますが、そのようなところは如何にされていますか。

事務局 そのあたりは担当のほうから柔らかにお伝えしているところでございます。苦情とか要望ではありませんが、とくに昨年始まりました水資源・環境学科などは宿題とか自主研究とかいろいろな課題を学生に課してゆく、それによって充実した講義にしていくという先生がおられます。当初は「あの先生きらい」だと。「私たち聞きに来ただけなのにどうして」、講義が終わったあとに利き水をしようとなると「時間外に何で」となる。そのような先生もおられますが、二人の担当がその講義の雰囲気や流れを見ながら先生に言っている事、またお願いしたいこと、また、これは先生独自の個性である、流れをこの様に持っていきたいというものを講師と十分調整した上で、ご不満を捨て置くことももちろんございます。最終的によかった、この先生本当に好きになった、次の機会にも来てもらいたいというふうに水資源・環境学科を一例に挙げましたが、だんだん変わってきておりますので、二人の担当が気をつけて見ているところでございます。

事務局 建築のほうですけれども、普段は若い20代の学生を相手にしてということで、ここに来ると本当に緊張して早口になったり、ピンマイクを使うけれども顔をプロジェクターの方に向けると声が聞き取りにくかったり、マイクのボリュームを上げさせてもらったりなど、いろいろな配慮をさせてもらっています。途中聞きづらいと持ちマイクに変えていただくこともよくあります。先生にお願いもしております。時間の関係で資料の最後のほうは駆け足になることもありますが、ご協力を得ながら進めております。

委員長 よろしく申し上げます。アンケート結果の方はよろしいでしょうか。

教育長 委員長、よろしいでしょうか。資料4にあります生きがい学習塾で毎年10名の方が講師をしておられます。講義をなさろうとすると発信しようとする準備に臨んでこない。そういう面では、教頭会や情報センターでは200ぐらいの講座を持っております。教頭会の後に年10回くらい教頭の自主研修を持っております。そこに来てもらって何人かのお話を聞くことがあ

ったんです。経営人、環境コンサルとかそれぞれの下地があって退職なされて講座を受けられて、プラスアルファで自分の経験で語って登録されています。教頭会の研修で来てもらったことがあります。いまのところ上手に活用してきたと思います。今後も進めていきたいと思います。ただ、自分は受けるだけで十分だ、と言う方が圧倒的に多いと思われます。自己の充実、生きがいの創出、自分のことでやりたい、子供たちのために、社会貢献として発信したいという方もおられますから、教育委員会事務局、情報センター、生涯学習センター、公民館も講座を持っておりますから、内部講師として、よそから講師をお呼びするのもいいですが、そういった形で発信してもっともっと検討をして行ければと思います。よろしくお願ひします。

委員長 何かございますか、今のアンケートについて。

委員 ここにおられる人の意識に差があると思います。極めたい人、聴くだけでいい人と。自主的に声があがったとき行政からバックアップ出来れば十分かと思ひます。声が多く上がったときバックアップして実現していくシステムが出来ていければと思ひます。

委員長 そう思ひますよね。生涯学習は自分に向けての学習であるから、そこを表に出すのを強要するのは、いらぬお節介と思ひますので。いずれにしてもレフネックが皆さんの意識の中で高いものであるというのはよくわかると思われます。

委員 皆さん高い学習意欲を持って学習されているというのはアンケート結果を見ての感想です。地域といひますかコミュニティに還元していただいて地域の活性化につなげていく方法はないのかと感じております。前の職場がコミュニティとか自治会の関係の担当でしたので、活動自体が活性化して行かないといけない状況にありますのでこうした力を活用して行けたらと思ひました。

委員長 そちらの側から発信していただくことも大切かと思ひますので、またよろしくお願ひします。

では、平成25年度生涯学習センター事業について事務局から説明をお願ひします。

(2) 平成25年度生涯学習センター事業について

(資料2)

平成25年度生涯学習センター事業計画

1. 生涯学習事業の推進について

(1) 生涯学習短期大学レフネックの運営

事務局 生涯学習短期大学レフネックにつきましては、前回、運営委員会の報告の通りでございます。本日いちばん下にレフネックの入学案内冊子を配らしていただいておりますけれどもご審議の結果、その内容でとりまとめたところです。まず新たに募集しました「地域・環境政策学科」と「宇宙・天文学科」は各々20講座、昨年からの学科であります2年次の「建築学科」と「水資源・環境学科」も各20講座を実施しまして 1講座5万円の講師謝礼で400万円を予算計上しております。

(2) オープン講座の開設

事務局 150名の定員のうち、一般80名、レフネック学生70名が受講します。今年度は3回もしくは4回の講義で話題性のある学習内容や講師を依頼しております。前回の運営委員会等でご審議していただきましたとおり6月につきましては川西市ご在住の大阪大学輪島先生に「音楽文化講座」、7月は福島県立医科大学教授で大阪大学招聘教授の大平先生に「笑い与健康講座」、9月にはレフネックでは平成22年度文学・文化学科をプロデュースしていただきました立命館大学名誉教授 木村先生を軸として奈良大学 木田先生、大阪学院大学 竹松先生の3名にて「文学講座」を予定しております。予算額につきましては今年度55万円を予定しております。

(3) レフネック課外講座の開設

事務局 パソコン講座につきましては4コース各4回、郷土史教室につきましては1コース4回、陶芸教室につきましては1コース7回を予定しております。講師謝礼として22万600円を予定しております。

(4) レフネックの在学生、OB生による生きがい学習塾の開催

事務局 レフネックの学生自らが教壇に立って経験や、また学習内容を講義し発表するもので10回の計画を立てておりまして、1回あたり5千円で5万円を予算化しております。

(5) レフネック入学式、修了式での学長式辞及び学長講話

事務局 3回50万円を予定しております

2 . 自主学習グループへの支援

(1) 学生委員会の開催

事務局 レフネックの学生で構成される学生委員会を適宜開催しておりまして、学生間の意思疎通、友情をはぐくむ場となっております。この川西市生涯学習短期大学のユニークな個性化に貢献している場となっております。

(2) レフネックにおける在學生及びOB生の自主学習に対する、部屋の提供と助言

事務局 在學生やOB生の学習、交流の場の提供として、このところとみに利用が増えて来ております。

(3) 生涯学習センターを拠点とした自主学習グループに対する部屋の提供

事務局 昨年度末で72のグループが当センターを拠点として定期的な生涯学習活動をしておられます。

3 . 生涯学習センター運営委員会の開催

事務局 レフネックの講座運営の進捗につきまして3回の開催を予定しております。

4 . センターの施設管理

事務局 設備保守管理委託で書いてありますとおり254万9千円、業務委託業務で77万3千5百円を計上しております。

以上、平成25年度生涯学習短期大学レフネックならびに生涯学習センターの管理について雑駁ですけれども説明を終わらさせていただきます。

委員長 ありがとうございます。この件につきまして何かご質問はございますか。

委員 4番のセンターの施設管理についてですが、ここピアノが4台ありますよね。そういうの調律の方も入っているのですか。

事務局 はい、調律料は役務費のなかで調律を定期的にさせていただきます。

委員長 ピアノは4台もあるんですか。

事務局 はい、2階の講義室に1台、3階の講義室に電子ピアノとピアノが1台ずつ、軽運動室に1台あります。

委員長	使われますか。
事務局	はい、例えばコーラスのグループでしたらパート練習と言うことで2階、3階に分かれたり、軽運動室は小さなお子様の運動のときに伴奏に合わせて軽運動をなさったり、いろいろと効果的に活用しておられるように思います。
委員長	そうですか。ちなみに中央公民館にピアノは何台ございますか。
委員	大集会室に1台、アップライトですね。
委員長	ほかにはないんですね。
委員	ありません。
委員長	2階のレセプションルーム、あちらには入りましたか。
委員	ないです。
委員長	不便じゃないですか。
委員	講演会で使われるのは少ないと思います。
委員長	お隣は公民館と文化会館窓口が2つあるんですね。いつも思うのですがピアノもこちらが4台と言うのが贅沢に思うのですが有効に使われているのならよろしいですね。
委員	センターの施設管理の業務委託料、突出して高いと思いますが内訳等を。月60万円くらいですよ。
事務局	説明させていただきます。業務委託料につきましてはまず清掃業務のほうで予算額310万8千円、入札にかけましたので減っています。最低賃金を遵守しますので国が定めた歩掛表で入札の設定書を出します。それと保安警備受付業務委託これは夜間利用であったり日曜日のご利用、月曜日事務局職員がおりませんので図書室が開いておりますので、そういった時の警備員の費用として434万9千円、あとセコム機械警備が全く無人になったときの警備12カ月で22万7500円、法律で決められました建築第12条点検委託5万円の予算です。ただ契約の際、入札をかけますので、それに伴って執行額はこれよりも少なくなります。

委員	入札するのですか。
事務局	清掃業務委託と保安警備受付業務委託は4月1日より業務が発生しておりますので、入札の方も済んでおります。概ねですけど入札差金も発生しております。清掃業務委託の方につきましては201万円ほど、保安警備受付業務委託の方につきましては360万円ほど、おのおの100万円ほど入札差金が発生するという入札となっております。
委員	お隣の市が随意契約では随分もめましたからね。
委員長	清掃業務のほうにお金が高いようでビックリしました。
事務局	日曜日など館が閉館の時にご利用になる、で、以前あったのですけれども例えばクッキーの食べこぼしが床に落ちていて、月曜日の朝に子どもさんのグループが入って、アレルギー体質のお子さんがいらっしゃったという時に、床に寝転ぶ軽運動の体操があったりしますと小麦一つでも大きな疾病を導くということがございまして、その清掃に長けている職員が、会社は変りましたけど、引き続き清潔な軽運動室で過ごせるように業務に努めております。
委員長	目を行き届かせていただいているありがたいと思います。他にご質問がなければ次の議題に移ります。
(3) 平成 2 5 年度レフネック第 2 0 期生の公開抽選について(資料 3)	
事務局	(資料 3) (資料 4) 合わせて報告させていただきたいと思います。レフネックの今年度の 1 年次、地域・環境政策学科と宇宙・天文学科につきましては、3月1日から3月30日まで募集をいたしました。(資料 3) 11 ページをご覧くださいと思います。優先入学枠および応募方法はここ数年の実施方法で優先枠も各学科とも20名を超えることはございませんでした。特に応募期間中、要望や目立った苦情等もなく、落ち着いた応募状況となっております。例年どおりですけど両学科とも70名の定員を超えるご応募がございました。地域・環境政策学科で73人、宇宙・天文学科で156人、各々1.04倍、2.23倍の倍率となっております。委員の皆様には恐れ入りますけれども調整のうえ公開抽選の実施、その場での立会いをお願いしたいと思います。公開抽選につきましては例年、委員長、副委員長ご協力の上お願いすることが多くございますけれども、委員様のご都合を勘案してご協力いただければと思っております。
(4) 平成 2 5 年度レフネック第 2 0 期生の入学式について (資料 4)	

事務局 (資料4) 入学式についてです。本年度1年次、地域・環境政策学科と宇宙・天文学科の入学式につきましては5月18日土曜日を予定しております。委員の皆様におかれましてはご多用とは存じますが、当日午前10時にご臨席いただきますようお願いしたいところでございます。また、大塚委員長には記念写真に入ってくださいます都合もございませので、9時30分をお願いしたいと思います。なお入学式の案内につきましては、追って発送、通知させていただきます。以上(3)(4) 続けて説明させていただきました。報告を終わらせていただきます。

委員長 ありがとうございます。今のご説明のとおりでございます。では、最後になりますけれども生涯学習センターの利用状況につきまして事務局より説明をいただきます。

(5) 生涯学習センターの利用状況について

(資料5)

事務局 平成24年度当センターの利用につきましては(資料5)をご覧ください。平成24年度の表、右側に利用状況を示しております。総利用人数は39,620人、件数につきましては1,546件と平成23年度と比べまして若干増加しております。これにつきましては工事等、昨年と比べまして閉館期間が無かった事、また、各グループ様の活動が盛んで利用頻度が多くなった等が原因と思われる。以上、利用状況につきまして説明を終わらせていただきます。

委員長 ありがとうございます。グループの方も72ですか、随分増えておりまして利用の状況も少しずつ上がってこられたと思われませ。何かお聞きになりたいことございませか。

委員 今年は現施設が使えますよね。来年度レフネックがアステの方に行きませすけど、センターそのものがあちらへ移るんではね。

事務局 はい、今年2月に平成25年度の登録グループ説明会にてご案内させていただきました。また後ほど、ご質問もあろうかと存じませが平成25年度につきましては、2月末までのご利用ということで登録を受付けさせていただきました。その後につきましては、実際のところ移転先とされるアステ川西6階の図面もまだ出来上がっていない、協議している状態です。どのようなご利用が入るのか、それと何よりも、本当に平成26年3月からこちらの部屋が使えないのかどうか、はっきりしていない状態でございます。平成26年度4月からこの建物自体が貸館として供されるかどうかにつきましては、今の計画では福祉の団体が入られると聞いておりませして、事務局といたしま

して各部屋を貸館として利用するのは難しいと思われます。今後また隣接の中央公民館他の貸館、それと新しくできますアステの中のお部屋のほうとかと協議しながら登録グループ様のされてきた今までの定期的な学習活動とかスムーズに行くよう、なるべく検討を重ねていきたいと思います。

委員

こちらにあります4台のピアノのうち一体、何台向こうに持って行っていただけるのかという話がありまして、ピアノがないと活動が出来ないので、合唱などこちらでは4台フル活用して使っておりまして、合唱祭の練習など中央公民館の1台では足りないんですね。そういうときに活動がだんだん狭められていく実態になって行くのか、向こうに行ってもどこかで、例えば中央公民館の会議室などピアノは無理ですが、防音の関係もありますのでね。そのあたりがどこへ持って行かれるのか話が聞けるわけではないんですね。

事務局

移転予定のアステホールこちらの方にグランドピアノが1台ございます。

委員

ありますね。

事務局

そちらの方もありますけれど実際どのような形に改築されて収納されるのか。グランドピアノは管理面積も非常にとりますので、おそらくそのピアノの活用も部屋の青写真が出来たときに詰めていくと思われます。場所はあまりとりませんが、こちらのグループ活動でアップライトのピアノは利用率が非常に高く、また古いですけれど調律される方が上質な音色とおっしゃっていただけるので、できればグループの利用に供したいと思っておりますけれど、何分入る部屋がはっきりしませんので、今後は皆さんの声を聴きながら設備の検討を重ねたいと思います。

委員

老人憩いの家のピアノがとても老朽化しておりまして、ここの使わなくなったピアノをもらいたいといった時に、鶴寿会館ですか、どこの部署に、行ったら良いのですか。

事務局

それは備品の移管になりますので、

委員

また別ですよ。

事務局

鶴寿会館のピアノの老朽化については市の担当者同士、もれ伝え聞いております。各担当もまだオープンにしておりませんし、ここにピアノが4台ありますということも言っておりません。検討に入ってくるとは思っております。

委員長 実際はこの施設を使ってらっしゃる側としては、出来るだけ早いうちに情報を知りたいというのは切実な問題であると思いますし。

委員 中央公民館もね、使われているんですけど、合唱にはグランドピアノをとも言ってらっしゃいますけどね。

委員長 来年26年4月から行こうと指針としては伺っておりますけれど、それに向けて私たちも非常に気になるところです。できるだけアウトラインを早く知らしていただければ活動もスムーズになるところと思います。

教育長 委員から出ましたけど、来年開校20周年になりますので、レフネックの4講座の条件整理をしっかりとやること、そして貸館もありますから、それについては音楽、ダンス、床の関係もあります。総合政策部の方もいると動いてくれています。一番大事なのは中央に大きなホールがあります。真ん中で切ったときに防音の関係、出入りの関係、パーティションのようなカーテンのような間仕切りになると、どうしても音が漏れるんですよね。他市のそういう学習センターでも実際に出来上がってマイクを使ってみると音が漏れるんです。ロックしてきちりと防音して間切りができるよう業者なり建築家なりが入って、実際にマイクを使って一定の音を出して、隣の音が聞こえるか聞こえないか確認をさせて、というところで工事を進めるように担当理事と話を進めております。ですから間仕切りをして防音をしないと。設計図があるんですけど、今お見せできないんですけど、周りの防音をすることが設計条件。

2つ目は防音改修床。中央図書館が下にありますからダンスをなさったり物を落とされたりすると、下の閲覧者に音が聞こえたりする。防音改修を補強していくこともあります。300人程がいっぺんに集まる事もありますからトイレの事もあります。混雑するだろうとそういう要望もお願いしているところでもあります。それから講師先生の控室、未就学の学習施設、行政センターの機能も持ってくる、そういうことも含めて、今進めておりますので。中心は防音と床、トイレなど出来る限り要望をして行っているところですので、他にご要望などございましたら、どうかよろしく申し上げます。

7. その他

委員長 私もアステの6階は何回か使わせてもらったことがあるんですけど、あのホールを2つに分けて使うというようなことでしょうか。防音とか床の事もきちりして行かないといけないということですけど、ホールとしての使用は可能なわけですか。

教育長	可能です。間仕切りをする形になりますので、その時に漏れたりすると音の漏れが、両方で講座などなされた時にマイクの音が出る。それがどの程度まで出来るか、相手方が迷惑被ったり、集中力が欠けるようなことは出来ないのです。ここでは2階と3階に分けて、なおかつ他を全部シャットアウトしてレフネックはされているわけですけど。貸館でも周りを使っただく条件で進めていくわけですから、おおいにそこは、しっかりと対策をやってもらうということで、依頼しています。
委員長	入口はホールの入口のような設定になっておりまして、そこからの入口がまたありますけど、基本的に裏側のトイレの方に結びついているんですけども、今度2つに割ろうとしたとき、舞台側のほうからの入口も当然考えておかないと。正面から横を通って部屋に入って行くということは、講座中であれば、ちょっと煩わしいと思います。是非とも舞台側の部屋側にも出入り口が必要と思います。
教育長	そういう計画、準備をしております。
委員長	先だってお伺いした時にレフネックは全機能がアステの方に移る、将来的にはどうなるかわかりませんが、この建物は残るんですよね。生涯学習センターは福祉関係に貸し出すとかおっしゃってらしたけど、この建物とふたつ使うわけにはいかないんですか。つまりグループ関係のお部屋はこちらの方で使っていただいて、レフネック関係はアステの方とそういう、使い分けは出来ないわけですね。
事務局	今の計画では、こちらは川西能勢口アステの方に移ります。あとは福祉の中北地区にある各福祉の団体が入られると聞いておりますので、福祉グループの方がこちらに入られる、そういう計画と聞いております。
委員長	非常に、大変ですよ。
事務局	グループ活動をされているグループ様には去年の3月以来、移転の話が出まして非常に心配をおかけしております。受付のほうでもご心配を掛けぬよう接遇を心掛けておりますが、やはり来年度どうなるかわからないという不安もあり、登録グループ72グループはありますが、減っているんです。教育長も申しましたように計画が決まりましたら、すぐに安心いただけるように説明会を開きます。また、無理のない活動を続けていただけるよう事務局も努めてまいります。
委員長	朝日カルチャーは行き所、決まりましたか。

事務局 アステの中の詳しいお話はこちらに漏れ聞こえておりません。ただ、交渉をされながら、当初ここが入る予定だった3階の管理棟やレストランフロアにも空き床が出ておりますので、そういったところを念頭に朝日カルチャーセンターに打診されていると漏れ聞いております。

委員長 朝日カルチャーも川西の一つの大きなシンボルとなっておりますから、いい場所を望まれると思いますし。何かと大変でしょうけれどもよろしく願いたいと思います。その他の件で何かございませんか。

委員 運営委員会の開催について案内は、なるべく早くいただきたいなど。前回など10日もない、次の週の金曜日開催との案内があつて。仕事柄なかなか都合がつけにくいので、なるべく早くいただきたいと思います。

事務局 申し訳ございません。さしせまった日程調整でご迷惑をおかけしております。申し訳ございません。
それと、先ほど議題であげさせていただいた20期生の公開抽選の立会いについてご審議をお願いしたいと思います。

委員長 じゃあ、私と副委員長が参ります。

事務局 4月13日土曜日10時からでございます。生涯学習センター2階講義室1のほうで公開抽選させていただきます。両学科とも定員超過のため抽選となります。ご面倒をおかけしますがどうぞよろしくお願いいたします。

委員長 では今日の委員会はこれにて終わらせていただきます。ありがとうございました。

事務局 ご審議いただきありがとうございました。次回は平成26年度の講義案も含めまして6月の開催を予定しております。何分企画案のほうスムーズに行くかわかりませんが、また事務局案をお示しさせていただきますから、新しい場所での新しい学習を皆さんご検討いただきたいと思います。皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

その他特記なし

閉会12時